



選挙戦を振り返る

2期目の挑戦となった統一地方選挙



やけだ宏明を
よろしく
お願いします。

- 3月3日 後援会総会
- 3月21日 事務所開き(庄町振興館)
- 4月3日 告示日
- 4月11日 投開票日

県内4番目の票数で、見事、トップ当選を果たす!

ばんざーい!



開票結果 (投票率 50.52%)

当 焼田宏明	10,514 票
当 米田昭夫	7,609 票
次 西尾雄次	7,071 票

※津幡町の票数の70%を獲得
※前回獲得票は10,831票

第2回 やけだ宏明かがやき杯ゴルフコンペ

10月12日(月)
石川ゴルフ倶楽部



190名が参加して盛大に開催されました。あいにくの曇り空でしたが、何とかお天気も持ちこたえました。大会長の矢田富郎津幡町長をはじめ、同僚の井出、徳野の両県議にも参加していただきました。表彰式は向正則津幡町議会議長の発声で始まり、北村茂男代議士にもご参加いただきました。優勝は、同級生の山本和彦さん。おめでとうございます。



やけだ宏明の公式 HP を開設しています。
<http://www.yakeda.jp/>

ブログも更新中!



ぜひ、ご覧ください。



お近くにお越しの際は、気軽にお立ち寄りください。

やけだ宏明事務所

〒929-0327
石川県河北郡津幡町庄ウ57-1
電話：076-288-7828
FAX：076-288-7827

駐車場あります。

やけだ宏明

県政報告

Vol.5

発行者：やけだ宏明事務所
発行日：2016年1月1日



県政 360度 365日

ごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。皆様には益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

本年も昨年同様どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、昨年の統一地方選挙に際しましては、皆様方の温かい、そして、力強いご支援を賜り、大きな壁を無事に乗り越えることが出来ました。

とにかく、二期目の選挙は大変だと、先輩諸氏から言われたとおり、初出馬の時と比較すれば、公務その他に時間がとられ、満足がいくほど選挙活動に集中することが出来ませんでした。しかし、地元の有志の方や町議会の同志の方々のお力添えにより、二期目も前回に引き続きトップ当選をさせていただきました。

投票率が低下している中、県内四番目という立派な成績をいただいたことは、2期目の4年間を胸を張って活動できる、とても大きな勳章となりました。改めましてご支援いただいた全ての方々に心から感謝を申し上げる次第です。

さて昨年、本県では北陸新幹線金沢開業、並行在来線「IRいしかわ鉄道」の開業、天皇皇后両陛下をお迎えしての全国植樹祭、本町においては「第24回全国市町村交流レガッタ津幡大会」が開催されるなど、大きなイベントが集中した1年でした。改めて新幹線の開業効果の大きさに感心したものです。

本年は新幹線効果を持続させ、さらに各市町においても効果を実感できるような取り組みを進めていかなければなりません。首都圏や沿線へ向けての情報発信も大切ですが、まずは地元が元気で活気にあふれ、県や市町のイベント等に積極的に参加する意欲を醸し出すような町づくりに、微力ながらもお手伝いをしていきたいと思えます。

最後になりますが、皆様方には更なるご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、この一年がよい年となりますようお祈り申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

平成28年1月

石川県議会議員 焼田 宏明

河北
元気印
宣言。

自由民主党



津幡町のこの1年を見つめて

焼田：新年あけましておめでとうございます。昨年を振り返りますと4月に統一地方選挙が行われ、私も2期目の挑戦となりました。町長の後援会の方々とか、町議の皆さんのお力を得ながら今回も戦わせていただきました。2期目の選挙が一番苦しいと言われておりましたが、おかげさまで立派な成績で当選ができました。改めて感謝しております。津幡町が一丸となって戦った結果だと思えます。これだけの票をいただいたことは4年間の励みにもなり、身が引き締まる思いです。

矢田：選挙は結果が全てです。票を見ても立派な数字ですし、日頃から地道に活動された証しだと思います。ただ、投票率が低かったことだけが残念な思いです。大きな数字を背負っての2期目の活躍に期待しております。

焼田：また、今年は参議院議員選挙も夏に行われます。自民党の県議として一生懸命に支援し、頑張っってしっかりと結果を出していきたいと思っております。さて、昨年を振り返って、津幡町には新幹線の見える丘公園をはじめ、いろんな話題がありました。

矢田：何はともあれ昨年はいろいろなことがありました。3月14日の北陸新幹線の金沢開業で金沢を中心に石川県内は多くの観光客で賑わいました。旭山工業団地にあります“新幹線の見える丘公園”はテレビや新聞、雑誌などで紹介され、大勢の方々が連日押し寄せました。全国から1000人もの方に参加していただきました全国市町村交流レガッタ津幡大会は、9月26、27日に石川県津幡漕艇場で開催されました。参加された皆様に満足して帰っていただいたと思っております。去年の津幡はスポーツでも大活躍でした。特に川井梨紗子さんはレスリングの世界選手権63kg級で銀メダルを獲得しました。リオ五輪が楽しみです。トランポリンの太村成見さんは年齢別の世界大会で金メダルを獲得しました。そして12月13日には津幡南中学校の女子が全国中学校駅伝大会でそれまでの最高位の2位となり大いに沸きました。そして町民の方々からは、私が公約に掲げましたプール建設への期待の大きさを感じてお

ります。気持ちの上では120%やりたい思いがありますが、補助金といますか、お金の出どころといますか、有利な財源を探さないといけません。町の負担が大きくなるほど、町民の皆さんにも負担がかかるわけですから、国などの補助金などを探しております、もうしばらく待ついただければと思います。いま庁舎内でプロジェクトチームを作って検討しているところです。設計図らしきものもできておりますし、場所の選定も3か所ほど、ここがどうかという場所があります。なにせ大きな予算が必要になってきますから、やはり2年ぐらいでとなると、1年に数億の金額になりますので、難しい面もあります。一方、体験型交流公園は17年間で20億円を予定しており、1年当りにしますとプールよりは金銭的には負担が小さくて済みます。

焼田：役場庁舎の耐震構造化や建て替えのこともあります。

矢田：町の公共施設の耐震化は役場を残して終わっております。40年以上経ちますので老朽化した庁舎を耐震補強でいいのか、建て替えた方がいいのかを検討しているところです。庁舎内にプロジェクトチームもあります。いずれにしても大きな支出が伴いますから、急ぐけれども急げないのが実情です。これからも町民の皆さんの安全・安心



(勝崎館にて対談)

と福祉の向上に努めていくとともに、いろんな要望がありますから、それに応えられるような町政の運営に今年も努めていきたいと思っております。

焼田：役場庁舎は災害の際には本丸になるわけですから、いざという時に本丸が耐震になっていないというのは、町民にとっても不安ですし、何とかしなければと思っております。LANケーブルの配線など、これからの時代に合ったIT化の面からも考えていく必要があります。やはり新しいものに建て替えた方がいいのかなという気もします。

矢田：建て替える議論の前に、現在のレイアウトで使い勝手はどうなのか、仕事の効率がどうなのか。私としては仕事しやすい環境をつくること、今の時代に合わせた能率を上げる観点から検討しているところです。

焼田：昨年の国勢調査の結果も気になります。少子高齢化にあって人口がわずかでも増えていることを期待しております。

矢田：この春には国勢調査の結果も出ると思います。微増であっても人口が増えていることはありがたいですし、津幡町は3分の2が中山間地ですので、きれいな緑を見て心を癒していただいたりして、ビルの谷間で住むのではなく、金沢に隣接していますので利便さも兼ね備えながら田舎思考といいますが、都会の方にも住んでいただけるような町づくりも考えたいと思っております。

焼田：若い方々が子育てしやすい住み良い町づくりをしていく必要があります

矢田：定住を促進させるような施策もやっております。金沢に近い津幡町。緑のきれいな津幡町に来ていただきたいと願っております。

焼田：森林公園もずいぶん身近になったという声も聞きます。

矢田：森林セラピー基地も爆発的に人が来るというよりも、落ち着いた観光地としていろんな方々に来ていただきたい。

焼田：森林公園内の宿泊施設について、私も議会でずい

ぶん質問をしていますが、県が前向きにならないと事が進みません。

矢田：三国山園地のログハウスが地滑りの問題もあって使用できないこともあり、悩みの種になっています。私としてはこの機会に津幡園地内にログハウスなどの宿泊施設が考えられないかな?と思っております。

焼田：IRいしかわ鉄道については津幡駅の東口と倶利伽羅新駅をどうするかです。津幡駅に東口ができれば、利便性も町の様子も変わってきます。

矢田：東口ができれば住宅開発をはじめ、旭山工業団地への道路もできたりと、津幡の南部エリアで金沢に近いですから、開発に弾みがつくと期待もしています。石川高専の学生さんにとっては大変便利になります。IRいしかわ鉄道が金沢以西につながる前に実現させたい事業のひとつです。倶利伽羅新駅については倶利伽羅塾や倶利伽羅不動寺西之坊鳳凰殿、そして運動公園を利用される方々、それに体験型観光交流公園も考えれば利用度は高いと思います。

焼田：いずれにしても夢が膨らみますね。それと町中の活性化をどうするかも課題です。

矢田：まちなか科学館ができ親子が楽しめるものが多く展示されており中身の充実したものになっています。さらに、この4月には津幡ふるさと歴史館(愛称 れきしる)がオープンします。町外から来られる方にも津幡町の歴史や町の様子を知っていただく良い施設になるのではないのでしょうか。併せて、ふれあい広場との3施設を結ぶことで人の流れを作っていきたいと思っております。

焼田：昨年の暮れに地域起こしの起爆剤として、新たに町内産品を津幡ブランドとして認定されました。

矢田：津幡ブランド認定委員会を作って検討していただきました。昨年の12月16日に倶利伽羅そばや倶利伽羅米、おまん小豆、まこもだけ、千寿大福、つーバーガーなど11品を認定しました。今後、ホームページで紹介したり、ふるさと納税の返礼品として活用していき、認証マークとともにデザイン化しPRに努めていくとともに、今後もより広く品目を追加認定していきます。

焼田：河合谷の即売所が人気となっていますね。

矢田：地元の人が運営して、地元のお餅、山菜、きのこなどを販売しているわけですし、谷内さんの版画ギャラリーもオープンし、旧小学校の跡地利用も含めて、これからの河合谷はちょっと注目かも知れません。

焼田：今日はいろいろなお話をありがとうございました。

対談を終えて。

心の癒しとなるような町づくりをこれからの施策の中心にしていきたい、との矢田町長の思いを強く感じた対談となりました。私も県議会での活動の中で、津幡町の発展のために精一杯の努力をしてみたいです。

やけどの 県議会レポート



平成27年 予算委員会 (3月10日) からの抜粋

北陸新幹線及びIRいしかわ鉄道の開業について

焼田 宏明 3月14日の北陸新幹線の開業もあと4日。開業日当日は金沢駅から首都圏へ向かう一番列車の見送り、首都圏からの一番列車の迎え、IRいしかわ鉄道においても一番列車の見送りなど大変忙しい朝になる。知事の思いはいかなるものか。

◎**谷本正憲知事** ささまざまな記念行事が予定をされており、これまで尽力いただいた方々と喜びを分かち合いたい。石川県を全国にPRする絶好の機会でもあり、加賀友禅など和装姿で出迎え、県内各地の伝統芸能の実演、エアリーフローラの装飾など、石川らしい趣向を凝らしたもてなしを行う。観光客の満足度を高め、リピーターにつなげる取り組み、企業誘致や地場産業の販路開拓、移住、定住の促進など幅広い分野へ効果を波及させていく。IRいしかわ鉄道の安定的な経営、開業3年前倒しが決定した敦賀までの一日も早い完成、大阪までのフル規格による早期全線整備に全力で取り組んでいく。

IRいしかわ鉄道の利活用促進に向けた取り組みについて

焼田 宏明 IRいしかわ鉄道は厳しい経営が見込まれ、運賃値上げによって利用者が減ることを懸念している。安定的に経営していくためには利活用促進の取り組みが重要である。駅舎などを活用した地域のにぎわい創出の取り組み状況について聞く。

◎**企画振興部長** 学校や企業、経済団体等を直接訪問して利用を呼びかけてきた。県内各駅でリーフレットの配布や中吊り広告を展開。また、金沢市と津幡町で地元説明会を8回開催し、運賃の値上げやダイヤの編成、切符の買い方、並行在来線の置かれた状況について周知をしたり、沿線の高校では定期券購入の事前受け付けを行ってきた。津幡駅周辺で花プランター設置や倶利伽羅駅周辺で美化活動を行うほか、津幡駅で「つ〜バーガー」などの地元特産品の配布や、森本駅から津幡駅までのウォーキングイベントを実施する。

焼田 宏明 「いしてつ愛あーるクラブ」は、マイルールポイントの付与やオリジナル切符のプレゼントなどの会員特典もある。現在の入会状況と取り組みについて聞く。金沢駅のコン

コースにIRいしかわ鉄道「お客様カウンター」が開設されたが今後どのように情報発信していくのか。

◎**企画振興部長** 会員数は3月5日現在で1,399名となっている。特典としてIR区間の1日フリー切符のプレゼント、定期券購入など利用に応じたポイントの発行、イベントへの招待などを行う。駅の裏側を見学する金沢駅見学会や運転席への乗車体験、写真撮影ができる車両見学会、沿線をめぐるウォーキングなどを考えている。金沢駅コンコースでお客様カウンターを開設した。定期券や企画切符の販売を初め、列車の運転状況の案内や観光情報の提供などを行うこととしている。

いしかわ里山サウンドウェイブ事業について

焼田 宏明 地元のFM放送「いしかわ里山サウンドウェイブ」は歌手のMISIAさんがナビゲーションを務め、石川の自然や各地の里山里海、そこに関わる方々の活動を紹介するもので、平成26年7月14日から8月25日まで7回放送している。27年度予算にいしかわ里山サウンドウェイブ事業が計上されているが放送が再開されると理解しているのか。

◎**環境部長** MISIAさんに「いしかわ里山サウンドウェイブ」という地元ラジオ局の番組に、夏休みの間7回にわたって県内の里山里海の紹介をしてもらい、そのすばらしさを理解していただいた。平成27年度も協力を得てラジオ放送を通じた普及啓発を実施したい。MISIAの森での活動紹介、豊かな森や里山里海の紹介、MISIAさんからのメッセージの発信に加えて、リスナーからの思いやコメントなど双方向でのコミュニケーションを図る内容にしたい。

焼田 宏明 MISIAの森は丸4年が経ち5年目に入る。このプロジェクトは来年の3月31日で終了する予定であるが、来年以降はどうなっているのか。

◎**環境部長** MISIAの森では植樹や下草刈りといった森づくり活動のほか、地元小学校の児童による生き物調査や大学、企業と連携した生き物観察小屋の設置など、生物多様性への理解を深めてもらう大変意義のある取り組みである。また、森林セラピーのコースの一つとしても設定されるなど、森林公園の魅力アップにもつながっている。今後ともMISIAの森での活動などを通じて森林公園についての情報発信、県民の生物多様性や里山里海の保全への理解促進につなげたい。

いしかわの酒による乾杯を推進する条例について

焼田 宏明 金沢市内で、日本酒で乾杯推進会議石川大会が開催される。どのような企画内容なのか。昨年、いしかわの酒による乾杯を推進する条例が公布、施行された。観光客を受け入れる飲食店にこそ本条例を推進してもらい、おいしい石川の酒及び九谷焼や輪島塗、山中塗などの酒器、酒のさかなとなる珍味でもてなしってもらうことで、お酒を取り巻く産業の発展につながっていくことが本来の狙いではないか。

◎**商工労働部長** この会議は平成16年から始まっており、全国大会を各地で開催している。今年10月に開催される石川大会は、県酒造組合連合会の熱心な誘致活動が実を結び、開催となった。同時開催の石川の地酒と美食の祭典・サケマルシェと合わせ、2万人を超える来場を見込んでいる。昨年2月に条例が制定され、地酒の普及促進やふるさとへの感謝の念を醸成するといった条例の趣旨や関連イベント等を紹介するPRチラシを作成して、酒造メーカーなどに周知を図っている。各種行事で率先して乾杯は地酒とするなど地酒の魅力発信に努めており、県酒造組合連合会の会員企業の出荷量が36年ぶりに増加に転じた。地酒に親しむ機会を通じて、伝統工芸や食の魅力を発信することで相乗効果が期待される。昨年7月、金沢駅構内に県内の地酒を扱う新店舗を開設した。この店舗に併設された飲食コーナーでは伝統工芸品の器で地酒や本県の食材を使ったおつまみが提供され好評を博している。県内飲食店には質の高い地酒を本県が誇る伝統工芸の器や豊かな食材と組み合わせ提供してほしい。

多面的機能支払制度について

焼田 宏明 この制度は農業者と地域住民が共同で行う地域資源の維持保全活動に対して支援するもので、津幡町でも12の活動組織が約800ヘクタールの農地を対象に農道の草刈りや水路の泥上げ、花の植栽などさまざまな活動をしている。河北潟干拓地においても2市2町にまたがる広域活動組織を立ち上げ、草刈りや防風林の植樹などを行っている。こうした活動は生産者を初めNPO団体、近隣住民などの幅広い参加を得て実施しており、地域資源を守るという意識の向上や地域住民相互の連帯感の醸成につながっている。平成26年度における取り組み状況と交付金の支払い見込みはどのような状況なのか。さらなる拡大に向け県としてどのように取り組むのか。

◎**農林水産部長** 多面的機能支払制度を活用した共同活動については、平成26年度は組織数で495、2万1,544ヘクタールで取り組んでいる。平成26年度の交付見込

み額は10億3,200万円余となっている。「地域資源の保全管理に役立っている」という声に加えて、「地域の連帯感が高まった」「地域の環境をより良くしていこうと考える住民が増えた」といった評価がある。一方で、地域をまとめるリーダーがいなかったり、事務処理や会計処理が煩雑であるといった理由により躊躇している集落もある。今後、リーダー不在の集落は広域的な組織にまとめて、共同で行うことにより取り組みの拡大を図る。

農業水利施設を活用した再生可能エネルギーの導入促進について

焼田 宏明 農業用水路に設置する小水力発電施設は、固定価格買取制度の導入とあわせて規制緩和が進み、導入拡大が期待される。これまでの取り組みと整備計画について聞く。九州電力などにおいて太陽光発電施設の接続申し込みに対する回答保留が起きた問題で経済産業省は固定価格買取制度の運用見直しを行ったが、河北潟地区において影響があったのか。小水力発電や太陽光発電が地元農業などにどのように役立つのか。

◎**農林水産部長** 県が事業主体となって建設したものが宮竹用水第1発電所と七ヶ用水発電所の2カ所あり、地元の土地改良区によって管理されている。平成27年度からは河北潟干拓土地改良区でも太陽光発電施設の整備に着手する。太陽光発電の急速な導入拡大に伴い、一部の電力会社で再生可能エネルギーの接続申し込みへの回答保留等が行われたが、北陸電力管内においては接続可能量に余裕がある。河北潟地区の太陽光発電施設は北陸電力へ接続契約を申し込み済みであり、平成26年度の買い取り価格により20年間の買い取りが保障され影響はない。小水力発電や太陽光発電による売電収入は、土地改良区が管理する農業水利施設等の電気代や維持管理費のほか、農業水利施設の更新費用などに充当することができる。灌漑用水の安定供給や農地の湛水被害の未然防止など地元農業の振興に寄与する。



❄️ 消雪工事について

焼田 宏明 IRいしかわ鉄道となり、今まで中津幡駅、本津幡駅、能瀬駅を利用していた学生や会社員は津幡駅を利用することが増えると津幡町は予想して駐輪場と駐車場を整備した。しかし、津幡駅前には消雪設備がない。調査を実施しどのような結果が出ているのか。次のシーズンまでにはぜひ消雪工事を行って欲しい。今後の計画を尋ねる。

◎**土木部長** 津幡町加賀爪から太田間は、津幡駅へのアクセス道路であり交通量が多く、地域住民の重要な生活道路として利用されている、機械除雪では円滑な通行に支障が来すことから消雪装置が必要な箇所である。平成25年から消雪装置の整備に向け、周辺にある既設井戸の深度、使用量を調べる水源調査を実施しており、除雪に必要な水量が確保できることを確認した。約2キロと延長が長いために工区を分割して整備を行いたい。利用者が多い津幡駅前の整備を優先することとし、来年度は設計に着手し、できるだけ早く工事にも着手したい。

🚗 県道荻谷津幡線のバイパス工事について

焼田 宏明 津幡町の中心部と富山県境の荻谷を結ぶこの県道は、津幡北バイパスの倉見インターとアクセスしており、津幡町にとっては大変重要な道路。また杉瀬工業団地があり、朝夕には通勤のため大変混雑する。津幡から倉見へつなげる区間は道幅も狭く曲がりくねっているため難所となっている。順次道路を広げ歩道も整備されてきたが、まだ残されている車のすれ

違いも困難な狭い道路を早く広げてほしい。杉瀬地内におけるバイパス整備の進捗状況、今後のスケジュールについて聞く。

◎**土木部長** 津幡町杉瀬地内は幅員が狭く、すれ違いが困難であり、小学校の通学路になっていることから、420メートルのバイパス事業に着手をしている。今年度全ての用地取得が完了したことから本格的に工事を着手したところであり、現在、倉見川にかかる橋梁の下部工事を鋭意進めている。平成28年度を目標に完成させたい。

🚗 津幡北バイパスの七黒から鳥越間の整備について

焼田 宏明 津幡北バイパスから七黒の間はトンネルも整備され2車線となっており、鳥越から県境についても2車線整備が完了しております。しかし、七黒から鳥越の区間は道路幅が狭いため、特に笠野小学校に通う児童たちを安全に通学させるには問題があり、早急に対策を立てて欲しいと強く要望されている。地元は整備を待っている状況であり、積極的に進めていただきたい。七黒から鳥越地内での取り組み状況と今後の見通しを聞く。

◎**土木部長** 鳥越から七黒地内についても、通学路となっていることや現道の幅員が狭く、車両のすれ違いや歩行者の安全な通行に支障をきたしているため、840メートルのバイパス計画としてこれまでに測量や設計を行い、検討を進めてきた。杉瀬地内のバイパスの完成に目途が立ったので、来年度は地元の協力を得ながら用地測量や建物調査など事業化の準備を進めていきたい。

平成28年 予算委員会 (12月15日) からの抜粋

里山景観保全に対する竹林対策について

伐採した竹を有効活用する粉末にした竹パウダーの製造や販売できないか。
農業の基盤改良に竹チップと瓦チップを組み合わせ、暗渠排水路の疎水材として利用するなど、竹そのものを有効活用する川下にあたる産業の振興につくすべきではないか。

スローツーリズムの取り組みについて

地域の潜在資源を掘り起こし、それを活用した体験型観光や人々との交流を中心としたスローツーリズムに取り組みすべきだ。日本の原風景が残る能登の里山里海で都会にはない貴重な田舎時間を提供している「春蘭の里」の取り組みは一つのモデルケースと考えるが、見解を問う。



議会での質問の様子はホームページから県議会のホームページにアクセスし、映像でご覧いただけます。

写真で綴る この1年

視察 & 行事から



8月31日～9月1日
森林林業林産業活性化推進
石川県議会議員連盟
(岐阜県高山市、富山県射水市) 視察



9月3日
農業研究会現地 (JA小松市野菜集荷場) 視察



10月14日15日
行財政改革特別委員会
(佐賀県立宇宙科学館) 視察



11月11日～12日
砂防事業推進研究会議員連盟
(長野県駒ヶ根・地滑り復旧工事の砂防ダム) 視察

MILANO 10月17日～24日 イタリア・ミラノ万博視察

